

使命

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会を作る。

その達成に向け良質の教育活動と、活発な知的創造・研究活動を行う。

教育理念

建学の精神「感恩」の構造化と具現化、その実践を支える「臨床福祉」の精神、「豊かな人間性」の涵養が関西福祉科学大学の教育理念である。

「臨床福祉」とは「支援するものとされるもの」が、互いの人格を認め合い、自らの将来に意欲を持って立ち向かえるように支援することを意味するものである。臨床福祉の精神が目指すものは単なる負の克服にとどまらない、より高次の積極的価値の生成である。

教育目的・目標

福祉科学の知識と技能を体得し、建学の精神「感恩」に基づき、人の幸せを願う豊かなところで、「臨床福祉」の精神に支えられた福祉科学を実践する人の育成

～笑顔 あいさつ 優しさを大切にし 豊かな学生生活を創る～

社会福祉学部

臨床福祉の精神を培い、社会福祉に関する科学的な知識と技能を修得し、人々が幸せに生きる社会の構築に真摯に努める専門的な実践力を備えた人を育成します。

■社会福祉学部 福祉創造学科

※社会福祉学科は、2024 (R6) 年度より学科名称変更(福祉創造学科)

《教育目的》

広く地域社会において福祉社会の構築に貢献できる実践力を身につけた社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、スクールソーシャルワーカー等の育成を目的としています。

《教育目標》

講義から演習さらに実習への学習プログラムを大切にし、社会福祉の実践に必要な価値観、専門的知識と技能を修得することが教育目標です。

(1)まちづくりコース

《教育目標》

地域における課題の発見から 解決に至るまで、地域(行政、企業、住民等)との協働により取り組むことのできる力を養い、地域の活性化やまちづくりに貢献できる専門的な人材を養成します。

《育成すべき学生像》

- ① 福祉マインドを基盤としたコミュニケーション技法を習得し、企業、行政機関、地域社会等、幅広い分野で、「人」を大切にするという社会福祉の考え方を発信できる人を育成します。
- ② SDGs、多様性、市民性を理解し、幅広い視野、豊かな感性、柔軟な思考で社会課題に応えることのできる人を育成します。

(2)医療福祉コース

《教育目標》

医療現場等で支援を必要とする人たちに、医療・保健・福祉の連携によるチームアプローチを通して、社会復帰や生活支援を目指した働きかけができる専門的な人材を養成します。

《育成すべき学生像》

- ① 福祉マインドを基盤としたコミュニケーション技法を習得し、医療的ニーズをもつ人及びその家族が抱える不安や生活課題に向き合うことのできる福祉専門職を育成します。
- ② 医療・保健・福祉分野における様々な専門職とのネットワークの中心的存在として活躍できる福祉専門職を育成します。

(3)高齢・障害福祉コース

《教育目標》

ケアワークとソーシャルワークの視点から、高齢者や障害者などの“いのち”と“くらし”を支えるために必要な知識や技能を身につけた専門的な人材を養成します。

《育成すべき学生像》

- ① 福祉マインドを基盤としたコミュニケーション技法を習得し、高齢者や障害者などの支援が必要な人々の声に耳を傾け、当事者主体の支援を展開できる福祉専門職を育成します。
- ② 高齢者や障害者などの支援が必要な人々が、地域においてその人らしい暮らしを送ることができる社会を実現するため、分野横断的な様々な専門職との連携を図り、ネットワークの中心的存在として活躍できる人を育成します。

(4)子ども家庭福祉コース

《教育目標》

子どもの最善の利益を追求する立場から、家庭も含めて子どもが安心できる生活や子どもの成長・発達をサポートできる専門的な人材を養成します。

《育成すべき学生像》

- ① 福祉マインドを基盤としたコミュニケーション技法を習得し、多様な状況下にある子どもとその家庭が抱える生活課題に向き合い、子どもの最善の利益を保障するための支援を展開できる福祉専門職を育成します。
- ② 地域における子育て支援の充実を図るために、行政、教育機関、民間団体、地域住民等との連携を図り、ネットワークの中心的存在として活躍できる人を育成します。

心理科学部

臨床福祉の精神の下、心のはたらきについての科学的知識と、心の健康を実現するための効果的な援助技法を教授し、人々が幸せを感じて生きていける社会づくりに貢献できる実践的人材を育成します。

■心理科学部 心理科学科

《教育目的》

医療・福祉・教育・産業・司法等の領域で、心身の健康問題を心理科学によって分析・解決できる柔軟な能力を有する、公認心理師等の専門的職業人の育成を目的としています。

《教育目標》

こころの問題について科学的に分析・解決する知識と技能、それらの問題を抱える様々な立場の人々によりそうカウンセリング・マインドとコミュニケーション能力を修得することが教育目標です。

(1)教育・発達コース

《教育目標》

こころの働きや発達について、心理科学的見地から関心と知見を身につけ、一人ひとりの多様性を尊重し包括的な支援や援助ができる共生社会の一翼を担う人材を育成します。

《育成すべき学生像》

- ① こころの発達や障害について、心理科学の知見から正確に理解する視点と生きやすさを考える力を備えた社会人を育成します。
- ② 人と社会の多様性を理解し、心理科学に基づく確かな専門的知識と技術を背景とした包括的な関わりや援助、支援ができる専門的職業人を育成します。

(2)社会・生活コース

《教育目標》

複雑な社会の中で、人々の健康や幸福感を高めることを使命と感じ、心理科学の知見と技法を駆使して果敢に挑戦し問題解決ができる人材を育成します。

《育成すべき学生像》

- ① 健康で幸福感に満たされた日々が過ごせるよう、人々の暮らす環境に働きかけ、制度の見直しや運用上の改善点に気づき、的確機敏に対応できる産業人を育成します。
- ② 活気ある地域創生、健全で生産性の高い組織づくり、人に優しい環境設計、平和で豊かな社会構築をめざし、周りの人々と協力して実行できる社会人を育成します。

(3)医療・健康コース

《教育目標》

個人の心身の健康について、科学的心理学に基づく心理査定と心理介入の知識とスキルを駆使して問題解決はもとより健康の維持・増進を図ることができる専門的職業人を育成します。

《育成すべき学生像》

- ① うつ病等のこころの疾病、職場や地域でのこころの問題を理解し、心理査定と心理療法を活用して問題解決や支援ができる人

を育成します。

- ② 家庭や職場、地域等で生じるあらゆるこころの問題の予防と健康の維持・増進について、心理科学の知見や技法を用いて寄与できる人材を育成します。

健康福祉学部

健康に関する知識と技能を駆使し、身体もこころも健康となる幸せな人間生活を実現させる福祉のこころを有した専門的職業人を育成します。

■健康福祉学部 健康科学科

〈教育目的〉

専門的知識を身につけ、児童生徒等・教職員の健康と安全を守る教育者(養護教諭)や働く人々の健康と環境をマネジメントできる専門家(第一種衛生管理者等)の育成を目的としています。

〈教育目標〉

健康・安全・環境に関する知識と専門的スキルを修得し、子どもに対しては一人ひとりへの愛情と慈しみを大切にしながら成長・発達を促すことができ、働く人々に対しては健康と環境をマネジメントできる、トータルヘルスのリーダーとして活躍できる人材を育成します。

〈育成すべき学生像〉

- ① こころの健康や身体症状に関する知識、カウンセリング能力、健康問題をとらえる力量や解決のための指導力、企画力、調整力を身につけた専門家を養成します。
- ② 生涯にわたって健康・安全に生活するための健康教育ができる専門家を養成します。
- ③ 労働社会における問題点を的確に見通し、就労者の健康と環境のマネジメントができる専門家を養成します。
- ④ ストレス・メンタルヘルス対策ができる専門家を養成します。

■健康福祉学部 福祉栄養学科

〈教育目的〉

人が豊かに生きるための「栄養と食」について学び、ライフステージ(生涯)を通しての栄養管理・栄養指導を行える管理栄養士等の育成を目的としています。

〈教育目標〉

栄養や食品に関する基礎知識、栄養指導の実践技術力を修得することが教育目標です。

(1)臨床栄養コース

〈教育目標〉

人が生きていくために不可欠な「栄養と食」について学び、臨床栄養管理・栄養指導を行える専門的能力を身につけた上、病院・高齢者施設等、「臨床の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士を養成します。

〈育成すべき学生像〉

乳幼児から高齢者に至るすべてのライフステージ(生涯)において食生活に起因する生活習慣病の予防や栄養指導を行う、医療・高齢者・福祉のスペシャリストとして活躍する人を養成します。

(2)食品開発コース

《教育目標》

人が生きていくために不可欠な「栄養と食」について学び、食品開発を行える専門的能力を身につけた上、食品企業・食品研究所等「産業の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士を養成します。

《育成すべき学生像》

食べ物と人の健康の維持・増進にかかわる教育を通して修得した知識や技能を活かし、食品開発を行うプロフェッショナルとして活躍する人を養成します。

(3)栄養教諭食育コース

《教育目標》

人が生きていくために不可欠な「栄養と食」について学び、食育指導を行える専門的能力を身につけた上、学校・保育園・保健所等「福祉の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士を養成します。

《育成すべき学生像》

食べ物と人の健康の維持・増進にかかわる教育を通して修得した知識や技能を活かし、食育を行うプロフェッショナルとして活躍する人を養成します。

保健医療学部

医療人としての人の幸せを願う豊かな心と教養および基礎知識を身につけるとともに、リハビリテーション科学の発展と専門分化に追随し、応用できる知識と技能、および福祉科学を理解した、指導力と協調性を有する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成します。

■保健医療学部 リハビリテーション学科

《教育目的》

障害を有する人の治療や、日常生活・社会生活に困難がある人の支援を行う医療専門職に必要な人格・知識・技能を備えた理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の養成を目的としています。

《教育目標》

医療専門職に求められる次のような人格・知識・技能を修得することが教育目標です。

- ① 医療人としての豊かな教養と人に愛される人間性
- ② リハビリテーション科学の発展と専門分化に追随し、応用できる知識と技能
- ③ 「超高齢社会」・「障害児・者の支援」に対応する福祉科学の知識
- ④ 指導力と他の医療従事者との協調性

《育成すべき学生像》

人の幸せと科学について深い関心を持ち、主体的に学習を続け、知識と技能を身につけ、障害を有する人々の支援に携わることのできる人を育成します。

*各専攻では、以下のような人の育成を目指しています。

(1)理学療法学専攻

リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる理学療法士

- ・ 基礎理学療法
- ・ 運動器障害理学療法
- ・ 神経・発達障害理学療法
- ・ 内部障害理学療法
- ・ 地域理学療法

(2)作業療法学専攻

リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる作業療法士

- ・ 基礎作業療法
- ・ 身体機能作業療法
- ・ 精神機能作業療法
- ・ 発達過程作業療法
- ・ 地域・高齢者作業療法

(3)言語聴覚学専攻

リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる言語聴覚士

- ・ 失語・高次脳機能障害学
- ・ 発声発語・嚥下障害学
- ・ 言語発達障害学
- ・ 聴覚障害学

教育学部

教育および保育に関する知識と技能を教授するとともに、幅広い教養と豊かな人間性を培うことによって、幸せな未来社会の構築に貢献しうる、高い資質能力を有した実践的指導力のある専門的職業人を育成します。

■教育学部 教育学科

《教育目的》

幅広い教養と、教育や保育に関する知識と技能に基づいて、教育や保育の実践の場で専門性を発揮できる高い資質能力を有する教員や保育者、および多角的な視点から現代社会の教育課題に応じうる教育人の育成を目的としています。

《教育目標》

教育や保育の実践の場で専門性を発揮できる教員や保育者、および現代的な種々の教育課題に応じうる教育人となるために必要な高い資質能力を身につけることが教育目標です。

子ども発達教育専攻

《教育目標》

幅広い教養に根ざした、乳幼児期・児童期の理解と、幼児教育・小学校教育・特別支援教育に関する基礎的および専門的な知識と技能の修得によって、学校教育や保育の場でその専門性を発揮できる人を育成します。

《育成すべき学生像》

- ① 学校教育や保育に関する専門的な知識と技能を修得し、それを現場で柔軟に活用することができる実践的指導力を有した人を育成します。
- ② 発達障害や特別支援教育に関する専門的な知識を身につけ、学校教育や保育の場で、乳幼児および児童の成長・発達を適切に支援することができる人を育成します。
- ③ 福祉科学の視点を有した知識を修得し、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる豊かな感性を持つことで、教育産業等で活躍ができる人を育成します